

さぬき

《発行元》 社会福祉法人弘善会 児童養護施設讃岐学園

〒761-0322 香川県高松市前田東町569-2 TEL (087)847-5171 FAX (087)847-5173

ホームページ <http://www.kouzenkai.jp/> e-mail sanukigakuen@kouzenkai.jp

[題字] 真言宗善通寺派管長 櫻原禅澄 大僧正猊下



東日本大震災で被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

地震が起きた3月11日14時46分頃、私は名古屋駅目の前の新幹線の車中でした。10数分の停車で事なきを得ましたが、後の便に乗車していれば報道されたような混乱に巻き込まれていました。

岩手、宮城、福島3県には児童養護施設が19施設あります。人的被害はなかったものの、建物や設備が損傷したり、物資が不足するなど不自由な生活を強いられています。

被災地のみなさんは、復興を目指して力強く活動していますが、その困難さを考えますと他人ごととは思えません。

震災、津波が来るまでの懐かしい街に思いを寄せながら、「子どもから大人まで、みんなが安全に安心して暮らせるまち」を描いていることと思います。

荒廃したふるさとを前にして、呆然と立ちつくすこともあるでしょうが、復興への「希い(ねがい)、望み」は、一日も早く成就させなければなりません。「夢」で終わらせてはいけません。被災地の施設に暮らす子どもと仲間思いを寄せて復興までともに歩むことを全国の仲間が確認しました。

園長 土釜 一

讃岐学園職員が「希望」について語りました

寮長 家庭支援専門相談員

斎藤 鈴代

始めに、東北地方を襲った大地震で甚大な被害に合われた皆様に対し、亡くなられた方のご冥福と、残された人々が一日も早く安らかな生活を取り戻される様、お祈り致します。今尚、報道される被災地の惨状は胸痛む思いですが、そんな中でも瓦礫の下から芽吹いた花々、子ども達のくつたくなれない笑顔、復興に向けて歩き出す人々の姿は神々しく、それは正に「希望」の象徴です。そして、応援すべき私の方、逆に励ましや勇気をもたらしている事に気付かされています。

毎日の生活でも、同じ様な思いに駆られる事がよくあります。だからこそ益々応援したい気持ち湧いてくる！。本来、人の営みとは、そんな日々の積み重ねなのかも知れません。

児童養護施設では、諸事情を抱えた家族が、意に反して親子分離の生活を余儀なくされていきますが、誰もが共に暮らせる日を望みながら、親子それぞれの課題に向き合っています。「希望」は「生きる

力」です。力不足ながら、子ども達の笑顔からもらいうエネルギーを蓄えて力に変え、これからも親子の応援者であり続けたいと、改めて思いを強くしている今日この頃です。

「ママ、くる？」2歳児が聞いてきます。どうやら、年長児とのやりとりから私が親との調整役だと臭うらしいのです。「ママにあいたいな」子ども達が抱くごく当たり前の希望すら叶えられない場合もあります。しかし、「希望」は「生きる力」です。力不足ながら、子ども達の笑顔にもらうエネルギーを蓄えて力に変え、これからも親子の応援者であり続けたいと、改めて思いを強くしている今日この頃です。

学童寮主任 基幹的職員

坂田 宏文

私たち讃岐学園の職員は、毎日子どもたちの健康に気を遣い、学園で楽しく生活できるようにいろんな面に気を配っています。しかし、そんな私たち職員も人間ですので、時には疲れ果てて仕事が嫌になったりすることもあります。実際、全国の児童養護施設の職

員の離職率が高いのは事実です。それほど児童養護施設の事は激務と言えます。

昨年度の全国のタイガーマスク現象で、「児童養護施設」というものの存在が全国的に知られました。恵まれない状況の中でも強く生きていく子どもたちに一時でもスポットが当たったことは良かったと思います。しかし同時に、その子どもたちに毎日向き合っている職員の苦勞というものはほとんど取り上げられなかったことが残念です。

子どもたちが楽しく健康で過ごすには、まず職員が健康で楽しく、そして『希望』の持てる職場でなければいけません。と思います。

今年度、私は基幹的職員として、讃岐学園の子どもたちにかかわる職員側にスポットを当て、将来的に『希望』が持てるようなチームワークのとれた働きやすい職場を目指し、それぞれがやりがいを見つけ、健康で楽しく仕事ができるようサポートしていければと思います。



学童寮中高担当主任

小屋敷 由花

学園の子どもたちと接していて、この子どもたちには、大きな夢や希望はないのだろうかと思ってしまう(しかし、夢も希望も抱いていないからと言つて、現実的なわけでもない)。上を見ていないから、いい成績を取ろうという気にもならない。大きな希望もないので、困難なことには最初から挑戦もしないし、すぐに挫折をしましう。また、平等であることの悪い面が働いて、「頑張っても頑張らなくても同じこと」「ご飯や小遣いもある、最低限のことは与えてもらえる」と分かっているから、何の努力もしない。

ただ、家庭引き取りの見通しが立ったり、自立間際になつてきたりすると、これから先のことが急に現実味を帯び、それまでとは少し違ってくる。これまで何度も公立高校に入れるように頑張ろうと促しても、全くやる気を見せなかった子が、急に学習に熱心になる。自分の親に負担や迷惑をかけたくない、という思いが頑張る力になるようだ。まさに親(親との生活)は、子ども

もにとつて希望の星である。幼児の時から親に代わって何年も関わり続けてきても、これだけは絶対に、職員が代わることができない。

さて、こんな子どもたちにとつて施設を巣立っていった先輩たちの存在は大きい。卒業生の生活の様子を知ること、自分がこれから出会う社会を身近に感じる事ができる。

ここ数年、社会に出てすぐにつまずいてしまいう子どもたちが増えている。私が仕事を始めた頃には見られなかった現象だ。

しかし、職場で売っているケーキやお菓子を季節の行事ごとに持って来てくれる子がいたり、被災地復興のため派遣されている自衛隊員がいたり、しっかりと地に足をつけて生活をしている二十歳前後の卒業生もいる。

子どもたちは悪い手本を見習いがちだが、是非このような卒業生を、自分たちの「希望の星」として目標に定めて欲しい。その希望に向かつて、子どもたちが羽ばたけるように、職員は、土台となるしっかりとした基盤を作れるよう支援していきたいと思う。

学童寮小学生担当主任

安部 智美

子どもと生活する中で、いつもむなしく感じる子ども達から出る言葉の多くは「どっちでもいい。」「わからん。」とても無気力で主体性の無い言葉。「どうしてな。」と言

いながら、心の中では「少し先も見えない自分の将来に、輝かしい希望あふれる言葉を期待する方が無茶か。」と思

い直し、同時に親への不信感や憤りを感じる。工作上、そんな親たちにも、にこやかにある時は冷淡に接しているが、また、この人達も適切な関わりを親から受けられなかった人たちなのかなと思うと、むなしくなるばかりである。この連鎖をどのようにして断ち切る事が出来るのか・・・。

満ち溢れていた。どこが違う？何が変わった？とても不思議で聞いてみた。「弟が『ねえちゃん、もう俺は後戻りはしたくない。頑張るんは自分や。また元の生活に戻りたいんか。』って、親と喧嘩したら励ましてくれた。他人事でない。身内に心配かけれん。って頑張った。」と話す。

その弟も入所中は騒ぎの渦の中心にいた様な存在。やはり苦労する親や努力する親の姿を見ながら生活していく事がどんな言葉よりも、子どもの成長を大きく支えていく力となっていくのか痛感した出来事であった。

幼児寮主任

野瀬 由華

個人的には私も今年で讃岐学園の職員として十年目です。私が讃岐学園で働きた頃、小学一年生だった子どもが今は高校生。また、今関わっている幼児寮の子どもたちは、十年前のあの頃にはまだ生まれていなかったと思うと、十年経っているから当たり前のことなのにとても不思議な感じになります。でも、未だ日々の業務をこなすのが精一杯で、

「ベテラン」と呼ばれることに正直戸惑いはあります。

本来なら一緒に居る、居たいはずの親と離れ、施設で生活せざるを得ない困難な状況にある子どもたち。施設から社会へ巣立つ子もいます。とにかく私なりに一生懸命向き合ってきたつもりですが、子どもとぶつかったり、悩んだりすることが多く、今でも何

度もくじけそうになってしまっています。しかしそんな私を支えてくれたのは、学園の子どもたちであったと思います。

何気ない会話の中で、ふと私に「病気のときに一人で寝ていたら、先生が来て絵本を読んでもくれた。」と何年も前の出来事を嬉しそうに語ってくれた子がいました。自分がその子を支えてきたつもりでしたが、その言葉にとても励まされました。その出来事に限らず、子どもに元気とやる気をもらったことは何回もあり、それが私の学園職員として頑張っていると思えます。



小規模グループ寮主任

六車 由佳

多くの子どもたちは、家庭という安定した基盤があり、そこから学校という社会(集団)に入って精一杯がんばり、また家庭の場に戻って行きま

す。しかし、施設で生活している子どもは、常に「集団」のなかでの生活を余儀なくされて

います。中学生ぐらいになると、施設で生活しているということ

を周りの人に言えず、自分に自信が持てないという子ども

が多くあります。そんな子どもたちにとって必要なのは信

頼できる大人です。子どもが壁にぶつかったときには寄り

添い、一緒に悩みます。悩んでも解決しないこともたくさ

んありますが、泣いたり怒ったりしながら話をする事で心

が軽くなるようです。家庭と同じようにはいきま

せんが、学校から帰ってきたら、ほっとできる寛げる環境

を整え、暖かく癒されるような雰囲気と生活づくりをして

いきたいと思っています。子どもたちはよく食事作り

のお手伝いしてくれます。気がつけば調理実習のような

状態になっていたり、しばです。食材の話をしたり、学校であったことを話したり

と会話も弾みます。話に夢中になり手がお休みしているこ

ども・・・。肩間にしわを寄せていた子もいつの間にか笑っ

ています。食事への愛着もわ

き、好き嫌いが改善されたり、日々食卓は賑やかで、おしゃ

べりしながら食べるとおいしさも倍増です。やはり食事は

楽しくおいしくいただくのが一番だと感じます。

日々いろいろなることがありますが、良い方向に変えていく力は誰でも持っています。

その力を発揮できるように、豊かな心と勇気を育み、常に

自分なりの希望を持ち続けてほしいと思います。いろいろ

な経験をして、悩んだり立ち止まったりしながら、自分の

生き方を見つけていってほしいと願うばかりです。

かけがえのない子ども時代をよりよいものにし、子どもと

ともに学びあい育ちあっています。子どもたちの幸せを願って!

子どもたちはよく食事作りのお手伝いしてくれます。



あなたの希望は何ですか？その願い・・・叶うといいな・・・

みんな元気いっぱい

～子どもたちから【あなたの希望】を聞きました～



～香色苑慰問～

おじいちゃん、おばあちゃんから色んなことを学びます



(幼児女子)

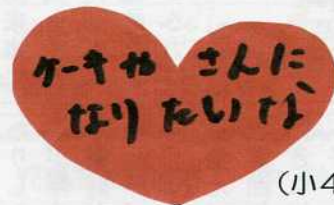


～奉仕活動～

町のため、人のために頑張るって気持ちいい!



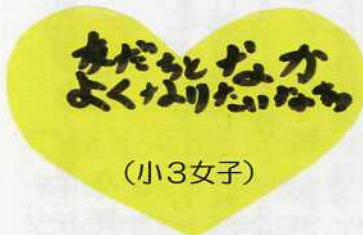
(幼児女子)



(小4女子)

～露店商慰問～

いつも楽しく遊ばせてくれてありがとう!



(小3女子)



(小3女子)

～ドッジボール大会～

チームワークもバッチリ! 大きい声で元気いっぱい

たのしい思い出



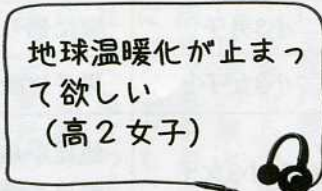
～ハーフマラソン参加～
みんなで走るって気持ちいい！



～楽器演奏～
みんな見てるからドキドキ
でも上手にできました



早よ一人暮らし
したいわ
(中2女子)



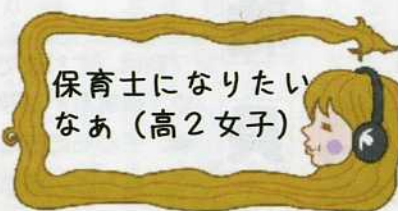
地球温暖化が止まっ
て欲しい
(高2女子)



～地域交流会～
おじいちゃんの抱っこ気持ちいい！



～クリスマス会～
サンタさんが来てくれました！
プレゼントもらって心も躍ります



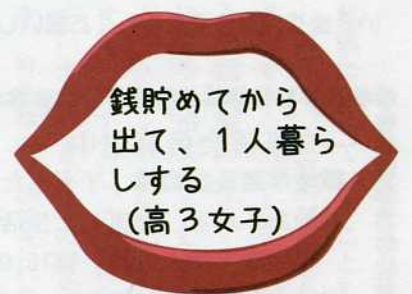
保育士になりたい
なあ (高2女子)



(幼児女子)



～卒園式～
社会人になる期待と不安を胸に
羽ばたいていきます



銭貯めてから
出て、1人暮らし
する
(高3女子)

子どもたちや保護者の方から要望・意見（苦情）がありました

苦情解決制度を保護者・児童に周知するため、「苦情解決制度についてのお知らせ」を掲示し、苦情箱を寮玄関、食堂に設置して苦情に対応しました。平成22年度は、子どもの訴えを積極的に聞けるよう、第三者委員に子どもと関係の深い小学校校長先生をはじめ小・中学校の先生6人と弁護士の先生の7人をお願いしています。

申出者	内 容	対 応
保護者(2歳女兒)	子どものけがについて十分な説明がない	・怪我の原因、状況等を説明し、説明不足を謝罪
保護者(小3女子)	子どもがいじめに遭っている 相手の児童の保護者と話がしたい	・保護者の話を十分聞く ・センター職員に 保護者が相談する
保護者(小3女子)	同室の子どもに嫌がらせをされる	・相手児童と話（注意）をする ・就寝時等の見守りを強化する
親族(小3女子)	投棄、居室等処遇が不満	・保護者の情報がいまいであったため、投棄、居室等処遇について状況説明。
小2女子	職員がキレる	・お互いが落ち着いて話し合うことを約束
中高女子	職員が暴言を言う	・職員が状況説明 ・園長が職員に注意の仕方などについて注意
中1男子	食事メニューの工夫	・毎月開催している給食委員会に提案する
小5女子	いじめられる(家に帰りたい)	・いじめの訴えを通じて家庭復帰の希望を聞いてもらいたいことが判明、センター職員が聞き取り
小3男子	家に帰りたい	・センター職員が聞き取りを実施、状況を説明
小3女子	男子に殴られた	・自治会で暴力、いじめなどについて話し合う
小2、小6女子	他児からいじめられる 悪口や嫌なことを言われる、される	・事情を聞き、関係児童と話し合うと共に、加害児童を厳しく注意、謝罪する。 ・自治会でいじめ防止などについて話し合う
小1、小2女子	特定の子どものうざい、いや	・けんかが原因であったので、職員と話し合う
小1女子	けんかをして腹が立った	・原因を聞き、仲良くすることについて話し合う
小4女子	部屋替えをして欲しい	・小学生全員の希望を参考に部屋替え



調理員 山下 恵子

香色苑から異動してきました調理員の山下恵子です。法寿苑・香色苑で老人食を作っていた私が讃岐学園で子どもの食事を作る事になり、その違いに戸惑いもありましたが少しずつ慣れてきました。

子ども達の声聞きながらできる事を幸せに思います。子ども達に喜んでもらえる食事が作れるように努力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

職

員

紹

介

児童指導員補佐 中村 大介

私は、これまで香川県で絶滅危惧されている植物の保護や『環境系』と呼ばれる分野の仕事をしてきました。その後、子どもたちと一緒に森あそびなどの森林体験の中で「もっと、自然の中に子どもたちを連れ込む事は出来ないだろうか」「もっと子どもの本質を知りたい」と思い、児童養護施設の門を叩くことになりました。

児童養護と言う分野に置いては、知らないことばかりでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

～ 後援会員募集中 ～

讃岐学園後援会は、子どもたちの安心・安全な生活を物心両面で支援しています。未来ある子どもたちが、笑顔あふれる、充実した生活が送れますよう、皆様のお力添えをお願いします。

年会費 法人会員 1口5,000円 個人会員 1口2,000円

○ゆうちょ銀行 01650-2-5168 讃岐学園

○百十四銀行本店営業部 普通預金0119413

社会福祉法人弘善会児童養護施設讃岐学園後援会 事務局長 土釜 一

時事随想

ふじたじいじの

二つのことについてお話をしようと思います。

昨年末から今年の初めにかけて、タイガーマスクこと伊達直人さんが全国各地の児童養護施設に登場し、たくさん子どもたちにプレゼントをしてくれました。讃岐学園にももちろんやってきました。この善意の行動に対して大変ありがたく思っているところです。従来から長年にわたり継続的にご支援していただいている個人、企業、団体の皆さんに感謝申し上げるとともに、これが一過性のものに終わることのないよう祈っているところです。

又、この現象が広く一般の人たちに児童養護施設という存在を、そしてそこで多くの子どもたちが毎日元気に生活していることを知らしめたということは、大変意義のあることだと思います。なぜなら子どもたちの支援は、施設の職員だけでなくたくさんの方々の協力なしにはやっていけないものですから。

次に3月11日に発生した東日本大震災についてです。画面を通して見る映像は、まさしくこの世のものとは思えない光景で言葉を失いました。震災後4ヶ月、絶望のどん底から一日一日を一生懸命頑張っておられる人々の姿に接し、できる限りの応援をしなくてはと思うと同時に、反対に私たちが勇気づけられているという思いです。

また自然災害の少ないところで普通に生活しているということが、いかにかけがえのない尊いものであるかということのを再認識させられたところです。被災地の皆さんのことを思うと、少々の困難にも立ち向かっていけるのではないかという強い思いが湧いてきます。

子供たちの最善の利益を目指して、また施設が子どもたちにとって安全で安心なところであり続けるために、全職員で頑張りたいと思います。職員も子どもたちも、当たり前のことを普通にやっていくという基本を忘れずに共に前進していきたいものです。

事務長 藤田伸一

平成22年度 事業活動収支計算書


自平成22年4月1日 至平成23年3月31日 (単位: 円)

勘定科目	本年度決算
事業活動収入計	201,288,965
事業活動支出計	193,463,226
事業活動収支差額	7,825,739
事業活動外収入計	81,016
事業活動外支出計	1,800,000
事業活動外収支差額	△1,718,984
経常収支差額	6,106,755
特別収入計	12,563,000
特別支出計	12,563,002
特別収入差額	△2
当期活動収支差額	6,106,753
前期繰越活動収支差額	120,264,099
当期末繰越活動収支差額	126,370,852
次期繰越活動収支差額	120,370,852

貸借対照表

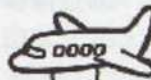
平成23年3月31日現在 (単位: 円)

資産の部	
流動資産	41,394,774
固定資産	613,152,516
基本財産	548,315,593
その他の固定資産	64,836,923
資産の部合計	654,547,290
負債の部	
流動負債	5,347,295
固定負債	5,098,937
負債の部合計	10,446,232
純資産の部	
基本金	324,686,000
国庫補助金等特別積立金	153,130,206
その他の積立金	45,914,000
次期繰越活動収支差額	120,370,852
純資産の部合計	644,101,058
負債及び純資産の部合計	654,547,290



香川県共同募金会 高松市支会
平成22年度特別配分により、下記の物品を購入させていただきました。

- 冷蔵庫
- 炊飯器
- 掃除機
- OCDラジカセ
- 加湿器
- オープンレンジ
- DVDプレーヤー



香川県共同募金会
平成22年度NHK歳末たすけあい
義援金特別配分により、下記の物品を購入させていただきました。

- 掃除機
- OCDラジカセ
- 加湿器
- デジタルビデオカメラ

多くの方々のご厚志に深く感謝いたします。(平成22年4月～平成23年3月)

順不同・敬称略

【寄 附】

エキスパートグループホールディングス(株)、エキスパートチャリティーアソシエーション、アイリオ生命(株)、総本山善通寺、三井物産四国支店、フジグラン十川、マルハン高松店、(株)グラウンド商事アドバンス、(株)日光商事、(株)ブックス羽床、四国明治乳業(株)、高松信用金庫元山支店、タリーズコーヒージャパンマーケティング本部、栄光寺、(株)遊美堂、ブリッジフォアスマイル、百十四銀行三木支店、ムーンバット(株)、公文教育研究会、フジテレビ・種田義彦、旭商工(株)、高橋石油(株)、小西フードセンター、ワールドメイト、信和アルコール産業(株)、マツモト温泉、浅野八王子八幡神社、東亜合成(株)坂出工場、全国シャンメリー協同組合、(株)トミタ、(株)弘久社、(株)サンフローラ、(株)サニクリーン四国高松支店、木村医院、広瀬石油、トレジャーワン、第一三共(株)、(株)アスティス高松支店、ストロベリールーム、(株)イーグルハウス興業、JX日鉱日石エネルギー(株)、小さな親切運動香川県支部、源芳、日本鏡餅協会、(株)マキタ、香川県軟式野球連盟、黒川商店、(株)ファーストリテイリング、三越伊勢丹グループ労働組合、(有)ピングゴ、社団法人日本缶詰協会、カーブス高松木太店、カーブス高松レインボー通り店、カーブス屋島店、カーブス扇町店、(株)ニトリ、(株)豆芳、(有)福広運輸、真央タクシー、RADIO GAGA、子どもの虐待防止ネットワークかがわ、(株)マツシタ、高松中央ライオンズクラブ、地方紙正月連合、(有)辻造船鉄工所、(株)牟尼庵、カワソエ衣料センター、デュプロ(株)、カラオケ喫茶りんどう、中村成志、大平祐司、ナヒド・ソバハニ、完土剛、久保和彦、伏見和恵、喜田馨、高杉勇、大嶋裕一、松本茂、佐々木一子、太田一平、海部映子、木村光宏、市村裕子、田村敬、川田秀秋、池内フジ、柴田廣子、松成一市、元木美穂、香西良人、関雅之、淵川朱美、大前裕子、柴川佳生、岡野美千代、神原博、関雅之、門司一徹、小川彗つ、福島、山田信生・正江、吉田孝平、堤祐子、元木美穂、高橋壘、嶋田純一、大景道子、大黒道子、本藤貴則、菊池弘一朗、木村万里子、平井一也・寿子、山本淳子、岩崎和義、漆原都子、高橋國光、増田昌三、永井静代、清水和彦、萬生寺、永原稔朗、杉本範子、山下清子、中西明彦、濱昭帆

【ボランティア】

香川ビルメンテナンス協会、打越謙司、学習ボランティア、学生ボランティアの方々、その他たくさんの方々に行事や子どもたちのお手伝いをいただきました

【招待】

屋島第一健康ランド、社団法人四国海事広報協会、高松中央ライオンズクラブ、百十四銀行、六車健、仲南町日赤奉仕団、(株)中塚工業、香川県アミューズメント施設営業者協会、白石義人、リトルウィング高松市文化芸術財団

【慰問】

東町本若獅子舞、香川県露店商業組合、国立青少年教育振興機構、上廣倫理財団

編集後記

今号は『希望』をテーマに編集しました。東日本大震災で被災された方々の『夢』や『希望』が叶えられますよう祈念いたします。讃岐学園の希望は子どもたちがより安全で安心のある生活を送ることです。みんなの『希望』にお互いが向き合い、一緒に笑顔溢れる生活を過ごしていきたいと思ひます。

◇東日本大震災義援金◇

讃岐学園職員一同は、このたび被災された東北ブロック児童養護施設協議会、並びに全国児童養護施設協議会義援金窓口へ義援金を送金させていただきました。